

壁装研究会 定期研修会を開催

(一社)壁装研究会(前田光弘会長)は、10月28日(水)、(株)川島織物セルコン市原事業所(京都)にて定期研修会を開催、26名が参加した。コロナ過ではあったが川島織物セルコンによるコロナ対応に配慮した見学、研修体制の協力を得て実施された。

研修会は同会の「高品位壁紙の研究・普及」に関する事業の一貫として行われ3回目となる。今回は、私企業初の博物館として著名な川島織物文化館、および工場での研修となった。織物の歴史、祭礼幕・緞帳・帯など伝統的織物工芸品の製作現場の見学、染色から手加工による織りまで制作現場を間近で見学する機会を得たこと、また伝統的技術の継承と職人の技を廃れさせないといった企業姿勢を参加者の多くが感銘していた。

さらに併設されている川島織物テキスタイルスクールも見学した。同スクールでは海外からの研修生も含め、織物に関する文化・技法の学習の受け入れ次世代人材を育成、スクールを通じて幅広く織物への普及などCSR活動を行っている。

壁装研究会では、今後も織物壁紙に関する施工技術普及活動、日本壁装協会での防火検定に関する試験等への協力を行っていくとしている。



26名が参加



研修会の模様